

Doctor's Data 社 Metabolomic Profile 検体作成手順

始めに:

この検体作成手順をよく読み、手順をよく把握してください。

この検査は特別な食事を必要としませんが、前日の夕食後は食べ物の摂取は止め、朝食を食べる前に血液の採取を行う事が勧められます。それ以外の時間に検体を作成すると患者の検査結果に差異が生じることがあります。医者 の 指導がない限りにおいて、検体作成前の 24 時間は必要のない薬剤やミネラルを含むサプリメントの摂取を控えてください。医者 の 指導を受けることなく処方薬の服用を中止する事はしないで下さい。

採血に当たる看護師の方々へ:

溶血血清は分析に不適切です。

検査キットの中身:

検査申込書	1 枚
保冷剤	1 個
検体作成手順(本用紙)	1 部

“Refrigerate”(冷蔵)のシールが貼られているジップロックバッグに含まれる物:

EDTA 含有の紫色ふたのチューブ	1 本
吸収性パッド	1 枚

“Freeze”(冷凍)のシールが貼られているジップロックバッグに含まれる物:

赤色ふたの血清チューブ	1 本
トランスファーピペット	1 本
血清を移し入れる 8mL トランスファーバイアル	1 本
吸収性パッド	1 枚

その他、キットと別に(検体の発送にかかわるもの)

FedEx 送り状(Air Waybill) 1 枚

インボイス(CUSTOMS INVOICE) 3 枚(これは米国の通関用です)

FedEx 検体発送方法 1 枚

FedEx UN3373 Pak..... 1 枚(検体発送時のビニール製封筒です)

キットの中身が不足している場合はデトックスまでご連絡下さい。

株式会社デトックス (Detox Co., Ltd.)

Tel: 03-5876-4511, Fax: 03-3222-5770, Email: askkensa@detox.jp

検査キットの外箱を保管し、検体はこの外箱に入れてラボまで発送下さい。

尚、検査キットには使用期限がございます(検査キット箱側面、検査名下に記載)。

使用期限内にラボにて分析可能となりますようお願いください。また期限を過ぎました検査キットはお使いいただきませんよう、お願いいたします。

検体作成手順(朝食をとらずに検体を作成することをお勧めします):

- 1) 血液を、提供された赤色ふたの血清チューブと EDTA 含有の紫色ふたのチューブにとります。
- 2) 赤いキャップのチューブは少なくとも 15 分間凝固させます。
- 3) 赤いキャップのチューブを遠心分離に掛け、血餅から血清を分離して下さい。
- 4) 提供されたトランスファーピペットを使用し、チューブから血清を取り出し血清を移し入れる 8mL トランスファーバイアルに入れます(分析には最低 2mL の血清が必要です)。トランスファーバイアルのふたを固くしめます。残りの血餅とピペットは破棄して下さい。
- 5) 患者様の氏名、検体作成日、生年月日を、EDTA 含有の紫色ふたのチューブと血清を移し入れたトランスファーバイアルの両方に記載して下さい。チューブ及びバイアルに患者様の情報がない場合には検査を行えません。
- 6) 紫色ふたのチューブを“refrigerate”(冷蔵)のシールが貼られているジップロックバッグに入れ口を閉じ、発送の準備が整うまで冷蔵庫で保管します。
- 7) 血清を移し入れたトランスファーバイアルと保冷剤を“freeze”(冷凍)のシールが貼られているジップロックバッグに入れ口を閉じます。そして少なくとも 6 時間冷凍庫入れ、血清検体を凍らせます。
- 8) 検査申込用紙右上の検体採取情報欄に、検体作成日、時間、患者が前夜から絶食をしたかどうか Yes または No にチェックをします。BMI を算出するために用いられますので、身長と体重を漏れなく記載することが重要となります。
- 9) 検査申込用紙に必要事項を全て記入してください。担当医の署名があることを確認してください。申込用紙に正しく記入されていないと検査はプロセスされません。
- 10) 発送の準備が整いましたら、凍った血清検体と保冷剤を入れたジップロックバッグを冷凍庫から取り出し、また紫色ふたのチューブを入れたジップロックバッグを冷蔵庫から取り出し、両方のジップロックバッグを

検体発送用検査キット外箱に入れます。

- 11) 必要事項を全て記入した検査申込用紙を検体発送用検査キット外箱に入れて下さい。検体と検査申込用紙を入れた検体発送用検査キット外箱を検体発送用 FedEx UN3373 Pak に入れ封をします。これで発送の準備が出来ました。

「FedEx 検体発送方法」をご覧頂き検体を発送ください。

最良の検査結果を得るために、Doctor's Data 社は検体をできるだけ早く発送することを推奨しています。もし検体作成日が週末や休日で、検体を検体作成日に発送することができない場合は、発送まで血清のバイアルを冷凍庫で、紫色ふたのチューブを冷蔵庫で保存下さい。